

(公財) 地震予知総合研究振興会
長岡平野西縁断層帯の活動性評価に関する研究委員会 (第14回)

概要報告

1. 日時 平成28年10月11日(火) 13:00~15:50

2. 出席者

主査	東北大学	名誉教授	長谷川 昭
委員	産業技術総合研究所		阿部 信太郎
	長岡技術科学大学	教授	大塚 悟
	東北大学	准教授	岡田 知己
	防災科学技術研究所	前理事長	岡田 義光
	東京大学	名誉教授	金沢 敏彦
	日本大学総合科学研究所	教授	工藤 一嘉
	東京大学地震研究所	准教授	酒井 慎一
	名古屋大学	教授	鷺谷 威
	東京大学地震研究所	教授	佐藤 比呂志
	防災科学技術研究所		関口 渉次
	東京大学地震研究所	教授	平田 直
	株式会社ホームサイスマメータ		堀内 茂木
	横浜市立大学	教授	吉本 和生
顧問	東北大学	名誉教授	大竹 政和
事務局	(公財) 地震予知総合研究振興会		

(敬称略)

3. 議第

- (1) 平成28年度上半期の活動報告
- (2) 熊本地震の特徴と教訓
- (3) 小笠原西方沖の深発地震により新潟県中越地域で観測された長周期後続波群

4. 委員会の状況

平成28年度上半期の活動報告として①地震活動状況等について、②GPS観測結果等について説明があったのち、観測データの利用法、大地震時の地盤変状等の幅広い分野における最新の調査研究について話題提供があった。

(1) 平成28年度上半期の活動報告

平成28年度上半期の活動報告が行われた。

① 本検討で整備した稠密地震観測網（AN-net）の維持管理状況および地震活動状況の説明が行われ、委員会では、トモグラフィ解析結果と震源分布の関係、気象庁による一元化震源との比較等について意見交換が行われた。特に、気象庁の一元化処理の方法が変更となったため、詳細に検証をするように意見があった。

② GPS観測結果等について、観測網の維持管理状況、データ処理の状況について説明がなされた。

(2) 熊本地震の特徴と教訓

2016年熊本地震について、前震・本震・余震・誘発地震の特徴や地表断層と事前予測との関係などについて紹介された。委員会では、熊本地震を踏まえた今後の地震活動の予測方法等に関して活発な意見交換が行われた。

(3) 小笠原西方沖の深発地震により新潟県中越地域で観測された長周期後続波群

小笠原西方沖の深発地震を対象に、AN-net観測点の地下構造について分析した結果について紹介された。委員会では、盆地内の地震波の伝播特性について意見交換が行われた。

以 上